

# 暮らしづくり

地域の中で誰もが安心して

暮らせる福祉の充実

骨髄移植ドナー助成金事業

14万円

骨髄移植ドナー助成金を交付することにより、骨髄等の移植及びドナー登録の推進を図ります。

予防接種事業

1億1604万円

感染の恐れがある疾病の発症及びまん延を予防し、公衆衛生の向上及び健康の保持増進を図ります。今年度より、ロタウイルス予防接種、おたふくかぜ予防接種を実施します。

高齢者福祉事業

1億2586万円

高齢者が幅広い分野で生きがいを持って、また住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、きめ細やかな福祉施策を実施します。今年度は、高齢者の運転免許証自主返納等の支援事業(P7参照)、

特別養護老人ホームの設置者に対して開設準備に要する費用の補助等を実施します。



## 都市づくり

市民の生命や財産を守る

環境づくり

消防車両整備事業

2948万円

消防・防災活動の要となる消防車両を充実強化し、円滑な消防活動を図ります。

避難所機能強化事業

1066万円

防災体制の強化を図るため、非常用発電機及び各小中学校給水ポンプ非常電源切替設備の整備を行います。

快適・安全に暮らせる

生活基盤づくり

空家対策事業

267万円

安全安心なまちづくりを進めるため、市内の空家状況を把握するとともに、そのデータを基に、空家対策に関する方針を策定します。

コミュニティバス・

デマンドタクシー運行事業

5665万円

公共交通の利便性向上を図るため、コミュニティバス「坂東号」及びデマンドタクシー「らくらく」を運行します。デマンドタクシーについては、引き続き市外医療機関(きぬ医師会病院、茨城西南医療センター病院)への実証運行を継続します。また、公共交通の充実を図るため、コミュニティバスの再編を検討します。



新しくなったデマンドタクシー(市内便)

地籍調査事業 3067万円

「個人資産の保全」や「相続や土地取引の円滑化」「災害時復旧の迅速対応」のため、土地所有者の立会いのもと、正確な土地情報(地図と面積)を明確にしていく事業のスピードアップに取り組みます(P6参照)。

市民とともに進める

都市マーケティング

わくわく茨城生活実現事業 162万円

移住・定住の促進と市内中小企業等における人手不足の解消を図るため、東京圏から坂東市に移住し、県マッチングサイトに掲載された企業に就業した世帯または個人に対し、最大100万円の移住支援金を交付します。

## 仕事づくり

坂東ブランドとしての

農業の振興と担い手育成

農産物ブランド拡充推進事業

496万円

坂東市農産物の知名度を上げるため、市長自ら行うトップセールスや農産物PR即売会への参加、地域活性化の取り組みなど、戦略的・計画的に農産物の高度化や差別化を推進します。



農業次世代人材投資資金 経営開始型補助事業 450万円

農業者の経営力向上と新規就農者の裾野拡大を図るため、新規就農される方に、最長5年間、年間最大150万円(夫婦での就農の場合は1.5倍(年間225万円))を給付します。